

人と自然が輝く水源の郷



14人巣立ち・幸多かれと

- 定例会（27年度補正予算の審議）…………… P 2
- 平成28年度一般会計予算…………… P 4～5
- 一般質問（5人が問う）…………… P 7～11
- あの一般質問は・今（伝統文化継承は）…………… P 14
- 紹介／がんばる人紹介（天国の笑顔のフラ教室／名取広行） P 15～16

3月 定例会

今後10年間の村づくり (総合計画)がスタート

3月定例会は3月8日から18日まで開催され、●2件の条例制定●12件の条例改正●2件の規約変更●過疎地域自立促進計画●9件の指定管理●27年度一般会計補正予算●27年度7件の特別会計補正予算●28年度一般会計予算●28年度7件の特別会計予算●総合計画の基本構想、基本計画を審議可決しました。

人口増加対策特別委員会の継続調査の報告、5人の議員が一般質問し村政の考えを問いました。

おもな審議事項

●一般会計補正 9224万円を追加、総額28億38万円で議決

おもな財源	・国庫支出金	1520万円
	・県支出金	△542万円
	・村債	△2410万円
	・地方交付税	1億1298万円
	・使用料、手数料	△679万円

おもな使いみち	・総務費(道志情報館)	3772万円
	・民生費(社会福祉・児童福祉など年度末での決定)	△2094万円
	・農林水産業費(県営事業負担金補助交付金など)	△1490万円
	・教育費(学校建設、体育館耐震工事)	△2052万円
	・諸支出金(積立金)	1億2318万円

●条例制定、改正を議決

・条例制定 2件、改正 12件 ・子育て医療助成を0歳～18歳に改正

●指定管理者の指定を議決

・(株)どうし他8か所の指定管理者を決定

●特別会計補正 ・年度末で予算執行決定に伴う件が主で全て議決

2月2日 平成28年第1回臨時会

おもな審議内容

●道志村総合計画条例制定

●一般会計補正 765万円を追加、総額27億813万円で議決

おもな財源	・地方交付税	396万円
	・繰越金	351万円

おもな使いみち	・総務費(公有財産購入費)	302万円
	・農林水産業費(木材搬出費、鳥獣害管理捕獲)	275万円
	・土木費(原材料費)	188万円

●工事請負契約の締結について(道志小学校校舎建築)議決



議案等の質疑

本定例会で行った、協議会
質疑の一部を紹介します。



Q 横浜に開設予定の 「道志情報館」は

●場所、事業費、運営方法等の概要は

A 保土ヶ谷区に28年度中に開設予定で、
店舗面積約50㎡で改装費、準備費等として4,850万円計上しました。



開設予定の施設内



浴槽本体

Q 「どうし茶屋」の特殊浴槽は

●買替え予算が計上されているが

A 現在のもものが経年劣化し、利用者からの
強い要望のため873万円計上しました。

Q 道志小、中学校改築工事の起債は

●起債額とその内訳は

A 起債総額 約7億6,710万円で起債の内訳は

全国防災事業債(0.4%) 9,580万円

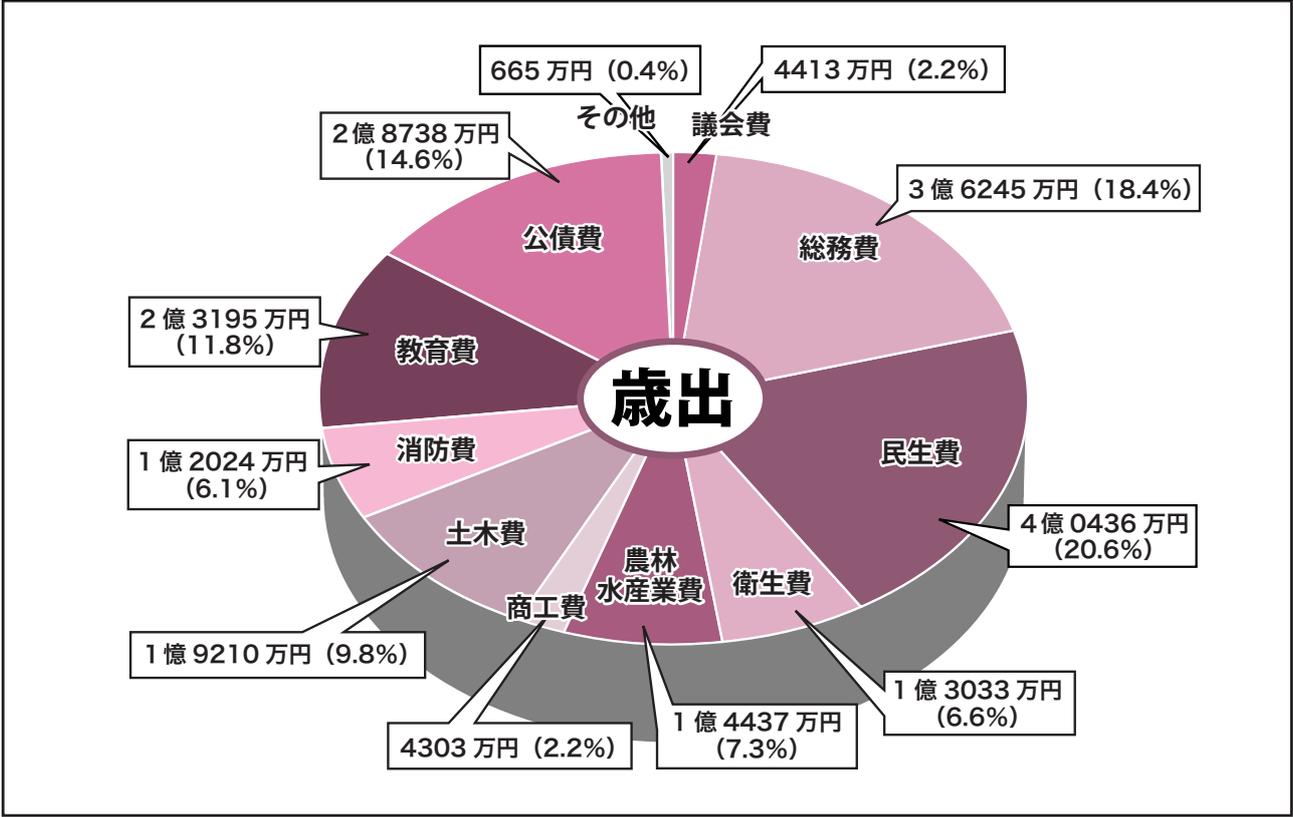
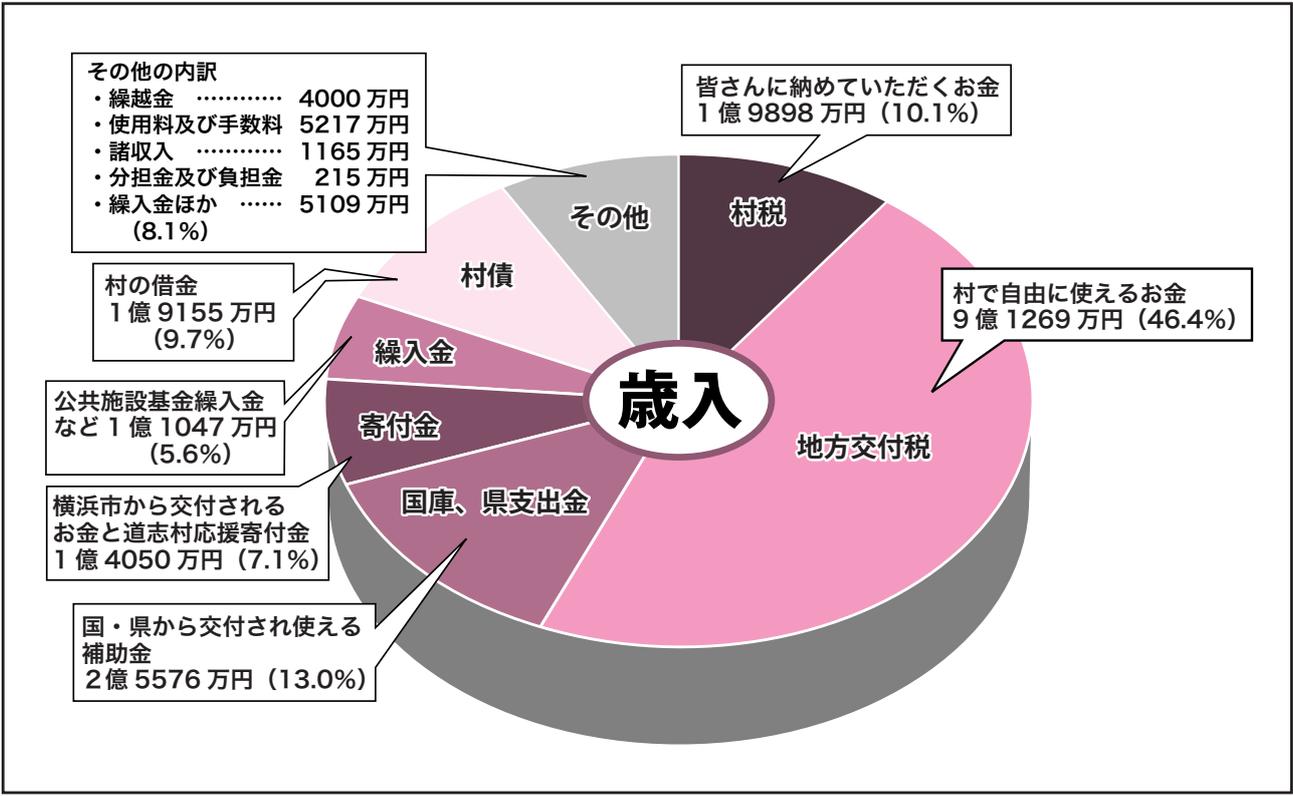
緊急防災・減災事業債(0.4%) 7,390万円

過疎対策事業債(0.1%) 5億9,740万円を予定していますが、
決定額ではありませんので変動することもあります。

() 内は利息利率を示します。

00万円を可決前年度比

マイナス
23.7%



※数値は万円単位に調整してあります。

平成28年度 一般会計予算 学童保育所建設費3502万円など

19億67

平成28年度 一般会計予算の主な事業は

総務課	<ul style="list-style-type: none"> ●移住・定住促進事業 346万円 ●地域おこし協力隊事業 1478万円 ●防災施設整備事業 1425万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通対策 970万円 ●情報システム事業 1578万円 ●プレミアム付き商品券事業 518万円
住民健康課	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会運営事業 952万円 ●障害者自立支援介護給付事業 2580万円 ●介護慰労金支給事業 240万円 ●予防接種事業 538万円 ●いきいき健康村どうし健診事業 746万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●重度心身障害者医療費助成事業 1140万円 ●在宅ふれあいサービス事業 286万円 ●にっこりコール事業 177万円 ●すこやか子育て医療費助成事業 545万円 ●道志村学童保育どうしっこ 3912万円
産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●一般廃棄物処理事業 5274万円 ●農業基盤整備促進事業 270万円 ●林業振興費 2375万円 ●森林環境税事業作成補助事業 500万円 ●橋梁長寿命化修繕事業 2760万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●農村地域防災減災事業 3232万円 ●地籍調査事業 2096万円 ●道志村観光広報促進事業 295万円 ●林道改良事業 2432万円
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●村単教員設置事業 1150万円 ●学校スクールバス委託事業 4281万円 ●高等学校等就学に対する助成事業 516万円 ●公民館維持管理事業 734万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●JETプログラム推進事業 477万円 ●学校給食事業 2060万円 ●小中学校改築事業 6922万円

平成28年度 特別会計予算は

会計名	28年度予算額	27年度予算額	前年度比
国民健康保険	3億6146万円	3億4065万円	6.1%
国民健康保険診療所	1億2636万円	1億2364万円	2.2%
簡易水道事業	8413万円	1億350万円	△18.7%
介護保険	2億2218万円	2億1653万円	2.6%
介護保険サービス事業	132万円	136万円	△2.9%
浄化槽事業	1億1765万円	1億2397万円	△5.1%
後期高齢者医療	4523万円	4378万円	3.3%
合計	9億5833万円	9億5343万円	0.5%

3月定例会一般質問一覧

■ 出羽 和平 議員

1. 当初予算で目玉事業は何か
2. 地方公会計の整備状況は

■ 大田 博文 議員

1. 公園にブランコやすべり台設置は

■ 水越 茂広 議員

1. 第2子以降の保育料無料化にするのか
2. 交通安全対策は

■ 山口 力 議員

1. (株)どうしの使用料納入予定は
2. 28年度予算編成の方針は

■ 長田 達義 議員

1. 山菜の丘等の施設の契約は
2. 国道413号の整備は
3. 農村地域防災減災事業は

一般質問 ここが聞きたい 村政を問う

※一般質問とは、議員が自分の考えや住民からの要望などを、村長や教育長などの行政に問うことです。

5人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会事務局で、5月上旬ごろ閲覧できます。

議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は6月に開催します。
- ・ 傍聴の定員
本会議10人（席の都合上）
- ・ 3月定例会の傍聴実績
本会議3人
- ・ 問合せ

議会事務局

☎ 0554 - 52 - 2112

Q 当初予算で目玉事業は何か

A 横浜市内にアンテナショップ設置



出羽

平成28年度当初予算ではどのような事業を提案しているのか、目玉事業は何か

村長

産業の6次化の推進、移住定住対策、創業支援等の施策を複合的に実施する予定となっており、総合戦略に係る事業費、8703万円を盛り込んだものとなっています。

総合戦略事業で横浜市内へのアンテナショップの設置事業4850万円を予定しています。

この事業は、横浜市保土ヶ谷区松原商店街に約50平米のアンテナショップを設置し、村の特産品の販売と観光案内、ま

出羽

た、Iターン・Uターン者への対応を考えており、農業、観光業の振興と産業の6次化、定住促進に繋がる事業として、総合戦略の目玉として考えています。

また、子育て世代への支援として、学童保育所の建築事業3502万円、すこやか子育て医療費助成の18歳までの引き上げ、高齢者福祉対策として、介護福祉施設の建設助成費9782万円を計上し、乳幼児福祉から高齢者福祉まで、切れ目なく支援を行い、「住んでみたい村・住んでよかった村」の実現を図りたいと考えています。

総務課長

日々仕訳方式を選択したので、平成30年度までに平成29年度に係る財務書類を作成し、公表することが義務づけられています。

Q 作成しなければならぬ財務書類とは何か

①発生主義・複式簿記の導入②固定資産台帳の整備③比較可能性の確保を促進することから、固定資産台帳の整備と複式簿記に対応した決算書が必要です。

総務課長

「再質問あり」

Q 固定資産台帳は整備したか

日々仕訳方式を選

総務課長

平成27年度末には、作業が終了する予定になっています。

Q 人材育成として職員の研修は

日々仕訳方式を選

総務課長

「再質問あり」



Q 公園にブランコや すべり台設置は A 必要な遊具の設置を検討



大田

現在、国が進めている一億総活躍社会や地方創生事業（まち・ひと・しごと）を導入し魅力ある村づくりに取り組むため長期総合計画・総合戦略を策定し、28年度から本格的に事業を展開しようとしています。

道志村の子育て支援については、現在策定中の「総合計画並びに総合戦略」において、それぞれの施策の中に位置付けています。

住民健康課長

総合計画においては、「子育て環境の充実」、総合戦略においては、「結婚・出産・子育てへの支援」施策に位置付けています。

質問の、子供たちの遊び場、公園整備や遊具の設置については、現在、やまゆりセンターの駐車場内にあります芝生公園や道の駅周辺の農村公園が整備されています。また、平成27年度には善之木小学校跡地に芝生公園を整備しました。

今後は公園施設内に安全な遊具を設置することや、学校跡地の活用などにより、必要な公園整備と遊具の設置を検討し、子育て環境の充実を図っていきたいと考えています。

「再質問あり」



Q 第2子以降の保育料 無料化にするのか

A 平成28年度から実施



水越

この制度は県が人口減少対策の目玉として、平成28年度から導入を発表した新制度ですが、財源は県と市町村が折半して負担することなどから財源確保や、条例改正など手続きが多いことなど指摘されております。

本村では、地方創生戦略会議で早期に取り組むべきものとして計画に盛り込まれております。

県の新制度発表を踏まえ、28年度より導入すべきと思いますが当局の考えは、また、保育料の完全無料化についても近い将来実施するの

住民健康課長

現在、道志村保育所では30名の子ども達の保育を行っていますが、年々子供たちの数は減少しています、平成28年度は25名の保育園児となる予定です。

現在策定している総合計画並びに総合戦略では、子育て環境の充実、子育て支援は、重要施策として位置づけています。

ご質問の「第2子以降の保育料無料化」は、平成28年度から実施します。

また、保育料の完全無料化については、総合戦略にも位置付けていますので、乳幼児、保育所、小学校及び中学校までの総合的な子育て環境を

図るため、総合的な支援体制について検討していきたいと考えています。

Q 交通安全対策の一つとして交通安全の標語を小・中学生から募集したらどうか

A 前向きに検討

総務課長

近年、交通事故が多発し、死者数も大月警察署内で2番という、不名誉なもので、村のイメージ低下にも、繋がりがかねない状況です。

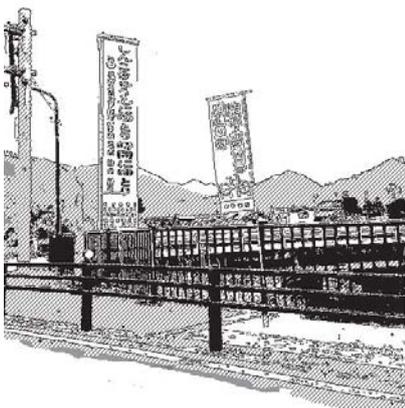
村民の安全確保の観点からも、早急に対処しなければならぬ課題だと考えています。

現在、山梨県交通

対策推進協議会において、県内の子どもから大人まで、広く交通安全スローガンを募集する取組を行っています、入賞したスローガンについては、交通安全の啓発に活用しています。

道志村の子どもたちに標語の募集を行うことは、交通安全への理解や意識向上につながる取組だと考えますし、標語の看板設置についても、前向きに検討させて頂きたいと思えます。

「再質問あり」



Q (株)どうしの使用料 納入予定は A 600万円減免して1200万円に



山口 ちから 議員

山口

「道の駅どうし」は行ってよかった道の駅ランキングで全国11位になり、昨年の大型連休には国道が渋滞するなど、大変賑わっています。

(株)どうしは「道の駅と道志の湯」の使用料並びに土地代が当初予算で合わせて2276万程になっています。昨年度は減免しましたが、今年度は予定どおり入りそうですか。

総務課長

本年度の道の駅の収入は、26年度に対して5パーセント程度、約1700万円増加しましたが、仕入品の値上がり等で支出も増加していま

す。

道志の湯は昨年、1090万円の赤字でしたが、メニューの変更、新たな宣伝等を実施し、赤字の額を減少することができました。

しかし、リニューアルオープン準備費を見込むと750万円の赤字となります。平成27年度の(株)どうしの収支見込みは、使用料を全額払うと500万程度の赤字決算になるため、道の駅の使用料、年間1800万円のところを600万円減免し1200万円程度に減額する必要が生じます。土地代は協定書のとおり、すでに納入されています。

山口

現在、道志村まち・ひと・しごと創生「総合戦略」の素案がまとまり、道志村総合計画も定められます。

そうした状況を踏まえ、新年度の予算編成について伺います。

国も村もきびしい財政状況下での予算編成の方針は。

総合戦略の事業は優先的かつ積極的に取り組まなければならないと思いますが、どういう方針か。

A 起債額の上限を当面2億円としていく

総務課長

本村も、非常に厳しい財政で、予算編

成にあたっては、地方交付税や過疎債等に依存しなければならぬ状況です。限られた財源の中で計画的に実施したいと考えています。

財政運営を行なうに当たっては、村の将来に、負担増にならないよう、起債額の上限を当面2億円とし、経費節減に努めて行きます。

また、総合戦略の施策には、継続事業と新規事業がありますが、平成28年度予算では、継続事業には拡充を、また新規事業として、

・ 移住コンシェルジュの設置

・ 空き家調査事業

・ 新規就農者支援

・ 地域起こし協力隊の支援

・ 小中一貫校の検討
・ 結婚相談員活動支援などのソフト事業を中心盛り込んだものとなっています。

「再質問あり」



改修された露天風呂

Q 山菜の丘等の施設の 契約は

A 横浜市と3年ごとに契約している



たつよし
長田達義 議員

長田

山菜の丘、林間広場は横浜市から道志村が借りていると認識しています。この場所は、樺から川原畑までの採草地だと思いが、契約はどうなっているか

総務課長

山菜の丘・林間広場共に地主は横浜です。

山菜の丘については、昔は地区の採草地として入会権があったようですが、昭和63年頃からすべての地区共にもう草刈を実施することはないので村で事業を実施し、有効に利用するのであれば使用は問題ないとの結論に至ったそうです。当時の資料がなかったため平成24年に再度聞き取

りを実施して確認を取っています。

契約については、3年ごとに横浜市と使用許可契約を交わしています。

長田

景観・間伐促進事業で国道413号沿線10カ所を324万円で整備することになっていますが実施場所はどこか。

また、26年の3月議会で、国道でなく道坂峠を整備した方が良いと提案しましたが、どうか

A5ヶ所だけの予定

産業振興課長

現在、2里塚周辺と谷相住宅周辺の間伐・枝打ち、大栗の枝打ち、また、月夜

野の湯川屋前、白井平の唐沢周辺の間伐枝打ちを進めています。1カ所当たりの金額がかなりかかるためにこの5カ所だけの予定です。

道坂峠については、

水源基金の事業で実施することになっており、所有者と合意した箇所から作業するように進めています。

長田

27年度の農村地域防災減災事業で、予算書に事業費は2億で道志村の負担金は16%で3200万円となっています。それが8000万円まで減額されていますが、その理由は、また28年度の予算及び実施する事業はどこか

A国の予算の都合により減額

産業振興課長

県では防災減災事業の当初予算を2億円計上してありましたが、しかし国からの予算配分が1億700万円、その後補正予算で1千万円増額され、合計1億1千700万円を実施しています。

県としては2億円の事業費を見込んでいましたが、国の予算の都合により満額は付きませんでした。残りの事業は翌年度以降に持ち越されます。

28年度の事業計画は、工事費は中島水路、三ヶ瀬水路、大久保土砂崩壊防止、板橋土砂崩壊防止、その他測量試験費、用

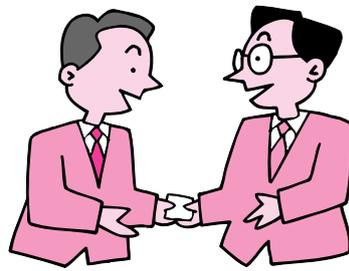
地買収費など合計1億5千万円を予定していますが本年同様、国の予算の関係で変更があるかもしれません。

「再質問あり」



谷相住宅周辺の間伐・枝打ち

報 告



●人口増加対策特別委員会活動報告

私たちは3年前に問題意識を共有しました。それは人口減少型社会にどう取り組むかということです。議員間で課題を整理し、具体的な対策を協議するため特別委員会を立ち上げ、活動してきました。

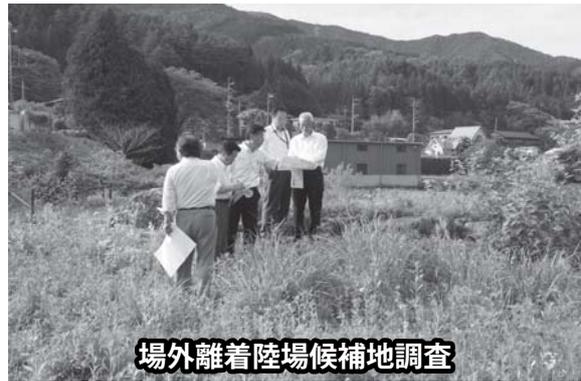
○出会いサークル部会

結婚相談員さんと連携し出会いの場の提供、婚活イベント3回実施

- ①ハイキング&囲炉裏de婚活（平成26年11月23日～24日）参加者32名
- ②リバートレッキングde婚活（平成27年8月2日）参加者20名



トレッキングde婚活



場外離着陸場候補地調査

○政策部会

政策勉強会を開催し先進地を視察するなど積極的に活動し、村の長期総合計画、総合戦略にも政策を提言しました。

- ①平成26年度予算編成・施策に関する提言（平成26年1月9日）
 - ・森林整備による産業振興、就業の場の確保 ⇒ 南都留森林組合に補助し、測量データを入手することになりました。
 - ・結婚祝金の増額 ⇒ 5万円が20万円になりました。
- ②コンビニ設置に関する提言（平成26年6月12日）
 - ・長期総合計画に位置付け検討する。
- ③場外離着場（ヘリポート）の設置に関する提言（平成26年9月26日）
 - ・長期総合計画に位置付け検討する。
- ④地域おこし協力隊の設置に関する提言（平成27年10月30日）
 - ・平成28年4月より3名採用することになりました。
- ⑤道志村総合計画に関する提言（平成27年12月17日）
 - ・長期総合計画及び総合戦略に議会からの政策提言が反映された。

議会活動

●アンテナショップ予定地の視察 横浜市 平成28年2月23日

総合戦略事業で、情報発信の為の、アンテナショップが計画されており、候補地が横浜3大商店街の一つ、松原商店街のため、状況を調査してきました。マグロ解体ショーで有名な魚屋や、威勢の良い八百屋が近くにあり、活発な地域と感じました。

施設の大きさは、
約 50 m² の予定



その他議長の主な参加行事（1～3月）

- ・1月 8日 知事・県幹部との新年互礼会
- ・1月 31日 都留市道志会総会
- ・2月 17日 谷村高校 120周年記念式典
- ・2月 25日 町村議長会
- ・3月 14日 箱根町・小山町両議長より「活火山対策要望意見書」受理

●富士山の日フェスタに参加 平成28年2月23日

2月23日は、ごろあわせで「ふじさんの日」です。静岡県、山梨県知事をはじめ、多くの地域住民参加のもと、富士吉田市内で祝賀行事が行われました。

日本一の富士山を取り巻く環境をはじめ、防災ネットワークや観光資源などの諸問題や現状が話し合われました。



●議会基本条例のポイントを聞く 平成28年3月1日

山梨学院大学法学部の江藤先生より議会基本条例の意義を学びました。議会改革のマニフェスト、議会本来の役割発揮、自治・基本条例、総合計画の位置づけなどの話でした。議会基本条例の課題に住民参加、検証委員会、議会からの政策サイクル、などがあるとのことでした。

全国で800の自治体が制定しているとのこと、意義と今後の課題の検証が必要と思いました。





あの一般質問は今...

平成25年3月定例会

質問

伝統文化継承は、長期的展望で考える必要が

答弁

村全体を視野に入れ組織的な支援体制の構築。

平成26年3月定例会

質問

26年度当初予算と、当面の重点政策は何か

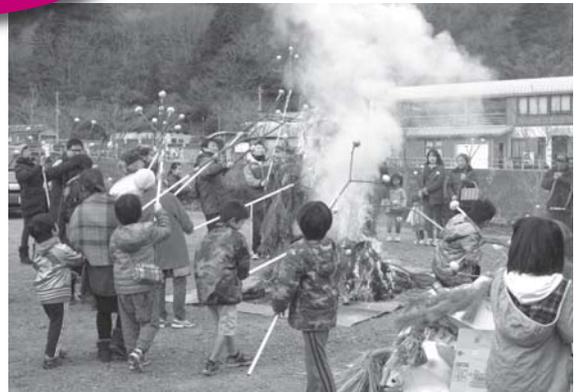
答弁

小中学校の建て替え等、教育環境の整備を進め、少子化対策を推進する。

その結果今は



27年度に中学校校舎が完成、小学校建設も予定どおり進捗している。また、28年度予算で、学童保育施設建設費が3,502万円計上された。



28年度予算でみると、神地伝統芸能保存会、川原畑、竹之本各神楽保存会、道志村の郷土史を語る会等に18万円助成金が計上されている。

議会の考え

教育施設を充実し、子育て世代が安心して働ける環境整備を推進し、少子化対策に努める。

各地区・団体とも後継者不足のため、伝統文化継承が危惧されており、早急な対策が必要。

紹介

しょうかい

道志の美しい自然の中でこそ、伝えられるフラを

フラハラウオミノアカオカラニ(天国の笑顔のフラ教室の意)

道志クラス

千々輪

美紀

ハワイの踊り、フラを習い初めて8年になります。きっかけは長男(小3)がまだ1歳の頃、当時住んでいた横浜で、小さな子供のいるお母さん達を集めたフラ教室が近くに出来たことでした。それが

つこしながら、時には授乳しながら片手と眼だけは先生の動きを追ってレッスンを受けていました。

その後、主人の転勤に伴い愛知県へ引越しし、別の教室へ通いました。3年後、家族で道志村へ移住し生活に慣れてきたころ、「やっぱりもう一度、佐藤るみ先生にフラを習いたい」という思いが強くなりました。車で片道2時間以上かかる神奈川県大和市にお住いの先生を拝み倒し、はるばる道志村に視察に来ていただきま

した。自分が都留市や富士吉田市の別な教室へ通うよりも、今後もずっと道志村で生きていくために、道志にるみ先生の教室を作りたい。それが道志村の若いお母さん達にとっても楽しみの一つ、生きがいの一つになれば、どんなに嬉しいことだろうと思いました。

月1回のワークショップ形式で募集し、体験レッスンを半年続けました。そして平成26年7月に正式に開校できました。私一人がやりたいといってもできることではなく、一緒に立ち上げてくれた素晴らしい仲間に出会えたからこそ、今、道志でフラを踊ることができています。

通じるものがありま

す。自分が生きてい

るのは自分の力では

なく、大自然の中に

支えられ生かされて

いるということ、そして先生はじめ、一緒に踊れる仲間がいること、ステージなどの活動を支えてくれる家族、そしてレッスンの間待っていてくれる小さな子供達、そしてその子供を預かってくださる育児ボランティアの方々。沢山の人のお蔭で今、フラが踊れていることをフラと道志の大自然が教えてくれました。レッスンしているやまゆりセンターの窓から見える四季折々の道志の山々の美しさにいつも心癒されています。道志村文化祭やふれあいサロンにも出させていただき、励みになっていきます。これからも感謝の気持ちを忘れず続けていきたいです。

スンしているやまゆりセンターの窓から見える四季折々の道志の山々の美しさにいつも心癒されています。道志村文化祭やふれあいサロンにも出させていただき、励みになっていきます。これからも感謝の気持ちを忘れず続けていきたいです。

た。子供をおんぶ、抱

つこしながら、時には授乳しながら片手と眼だけは先生の動きを追ってレッスンを受けていました。

その後、主人の転勤に伴い愛知県へ引越しし、別の教室へ通いました。3年後、家族で道志村へ移住し生活に慣れてきたころ、「やっぱりもう一度、佐藤るみ先生にフラを習いたい」という思いが強くなりました。車で片道2時間以上かかる神奈川県大和市にお住いの先生を拝み倒し、はるばる道志村に視察に来ていただきま

した。自分が都留市や富士吉田市の別な教室へ通うよりも、今後もずっと道志村で生きていくために、道志にるみ先生の教室を作りたい。それが道志村の若いお母さん達にとっても楽しみの一つ、生きがいの一つになれば、どんなに嬉しいことだろうと思いました。

通じるものがありま

スンしているやまゆりセンターの窓から見える四季折々の道志の山々の美しさにいつも心癒されています。道志村文化祭やふれあいサロンにも出させていただき、励みになっていきます。これからも感謝の気持ちを忘れず続けていきたいです。



佐藤 るみ先生



ふれあいサロンにて

がんばる人紹介

新しい時代を担う力は、地域社会とのつながりから



道志小学校
校長 名取 広行

初めて道志村を訪れた日、透き通った道志川の流れに魅了されました。こちらに居を移して1年がたちますが、私は、今でも橋の上から眺める道志川の風景に惹かれます。

私の育った場所は御勅使川扇状地にあり、水はけのよさを活用し果樹地帯が広がっています。しかし、昔は「月夜でも焼ける」と言われるほど水不足に悩まされた地域でした。

今、学校教育においては、身近な地域を含めた社会とのつながりの中で学びを進めていくことが強く求められています。自分たちの活動によって、身近な地域、社会生活は変革できるという

実感、認識が、変化の激しい、新しい時代を担う力となるからです。

本校の学校教育目標の一つに「郷土愛」があります。平成27年度、全校で郷土学習に取り組み、山梨県教育委員会から奨励賞をいただきました。

これからも、保護者や地域の皆様方の御理解とお力添えを得て、教育活動の充実に努めてまいります。教職員共々、今後よろしくお願いいたします。



奨励賞受賞

写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

編集後記

あれから4年。

はじめて広報の編集にたずさわってから4年、16回目の発行となります。一人でも多くの人に読んでもらえる広報を目指して頑張ってきました。

今回で「議会だより」も30号となります。創刊号からたずさわってきた委員から、最初は自分達で印刷するところから始めたと言いました。「継続は力なり」です。今後ともご愛読よろしくお願いいたします。

次期議員の皆様にも、益々充実した「議会だより」にしていてもらいたいと願い編集後記といたします。

(山口 力)

広報常任委員会

委員長 山口 力
副委員長 杉本 秀明
委員 出羽 和平
委員 水越 茂広